

きらめき市民活動

綾瀬を元気に



あやびい

綾瀬で楽しく

ブタッコリ〜

発行：市民活動センターあやせ 制作：コミュニティサポートあやせ

できることから始めよう リデュース、リユース、リサイクル — 綾瀬の循環型社会への取り組み —

ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまちに。これは第2次綾瀬市環境基本計画(平成26～35年度)で掲げられている将来像の1つです。ご存じの方も多いと思いますが、3Rはリデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)の頭文字を表しています。環境に配慮し、資源を有効利用する循環型社会の形成を促す言葉で、綾瀬市でも多くの市民団体が推進しています。今号では、3Rをキーワードに、環境問題に関わる活動を紹介します。

ごみの減量をレジ袋から

あやせ環境ネットワーク 生活環境プロジェクトチーム

まずリデュースは、資源の消費そのものを減らし、長く使えるものを用いてごみを減らしていこうという考えです。

2008年に市民や事業者等で発足した、あやせ環境ネットワークでは、環境基本計画の推進を図るため、4つのグループを立ち上げ活動しています。その1つ、生活環境プロジェクトチームはごみの減量化を主な目的とし、現在レジ袋の削減キャンペーンを綾瀬市とともに進めています(右記参照)。

チームリーダーの横山健一さんによると、大型店からコンビニまで30以上の店舗が協力、「多くの方の賛同を得て、まち全体で取り組んでいます」とのことでした。マイバック持参率は、レジ袋の有料化やポイント還元をしている店舗では6割近くになるものの、無料の店舗を含めるとその数字を大きく



あやせ環境ネットワーク(写真提供：綾瀬市 環境政策課)

下回るのが現状のため、その改善が期待されます。

また同チームは、「若い世代や子供たちに関心を持ってもらい、一緒になって継続的な活動をしていきたい」(横山さん)と考え、環境にやさしい親子料理教室などを企画、啓蒙活動に力を入れています。

レジ袋削減推進キャンペーン

(平成26年度あやせエコット21家庭編)

内容：キャンペーンポスター掲示店にてマイバックで買い物をし、1回1,000円以上のレシートを15,000円分集めてあやせ環境ネットワーク事務局(綾瀬市役所5階、環境政策課)に直接持参。持参者の中から抽選で景品を贈呈



対象：市内在住の方

受付期間：

10月31日まで

◀マイバックを持ったあやびいが目印

※参加店については、綾瀬市のホームページに掲載されています。各店によってマイバック持参を証明するレシートの発行方法が異なります。ご確認のうえ、キャンペーンに参加ください。詳細については、あやせ環境ネットワークにお問い合わせください(本文末尾に記載)。

壊れたおもちゃを治療

おもちゃの病院あやせ

次に、使用できるものはなるべく捨てないで繰り返し使おう、という考えがリユースです。

おもちゃの病院あやせは、日本おもちゃの病院協会が実施されている「おもちゃドクター養成講座」の修了者を中心に、05年に結成されました。毎月2回、ダイエー綾瀬店やリサイクルプラザ、福祉会館で開院しています。

年間300件近い依頼があり、「ほとんどすべてのおもちゃを治療（修理）することができます」と会長の早田茂さんは言います。開院時に手元にない部品の交換が必要となれば、入院させて（預かって）対応しています。持ち込まれる多くは思い入れのある使い込まれたもので、子供だけではなく、認知症の方が大事にしているものも増えているそうです。

リピーターは確実に増えているようで、「治療したおもちゃが動きだしたときの子供たちの表情、それを見ると本当にやりがいを感じます。これからも、ものを大切に作る心が育つ場にしたい」と早田さんは話していました。



おもちゃの病院あやせ

生ごみを堆肥にして野菜づくり

あやせ生ごみ隊

最後のリサイクルは、廃棄されるものを資源として再生させ、再利用しようという考えです。

1,200㎡の試験圃場で60種類の野菜を栽培している、あやせ生ごみ隊では、家庭の生ごみの堆肥化を進めています。生ごみを活かすという意気込みを



あやせ生ごみ隊

持って07年より活動を開始、団体名の“生ごみ”は“いきごみ”と読みます。

これまで堆肥化した生ごみは約45.8トン。焼却費でみると260万円以上の削減につながっています。収集される燃えるごみのうち、最も多いのが生ごみで、会長の小田原禎さんは「綾瀬市にはたくさんの休耕地があります。それらを活用して、私たちの活動をもっと広げたい」と今後の抱負を語ってくれました。

こだわりは無農薬で栽培すること。自らつくった堆肥と、同じく自らつくった苗からつくる野菜は、小田原さん曰く「見た目はよくないものもありますが、おいしいものばかり」。畑仕事が好きな人たちが集まり、活動を楽しんでいます。

地球温暖化や異常気象が当たり前のように語られる昨今、環境に配慮した循環型社会を望む方は多いと思います。11月8日には、ここで取り上げた3団体をはじめ、環境問題に関わる市民団体が参加する第10回あやせ環境展が綾瀬タウンヒルズで開催されます。興味のある方はぜひ参加してみてくださいはいかがでしょうか。

なお、紹介した団体については下記にお問い合わせください（掲載順）。

※あやせ環境ネットワーク

0467-70-5620（綾瀬市 環境政策課内）

※おもちゃの病院あやせ

0467-70-1232（市民活動センターあやせ）
omocya_h@yahoo.co.jp

※あやせ生ごみ隊

0467-70-1405（小田原 禎）

綾瀬の いいとこ再発見



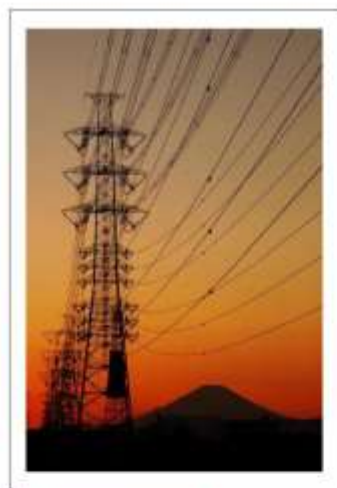
第2回 素晴らしい富士山の眺め

綾瀬市は「きれいな富士山が見られる」という声を多く聞きます。では、どこに行けば素晴らしい富士山を眺めることができるのか。日々の活動で綾瀬を知り尽くしている写彩あやせ代表の林公さん、綾瀬フォトクラブ会長の古泉尚さん、綾瀬写真協会会長の伊藤和徳さんにお集まりいただき、写真を拝見しながら話を聞きました。

3氏が共通して挙げたのは、綾瀬市役所の屋上。時期を問わず絶景を見ることができます。ただ、「建物に登らなくても見えます。富士山から離れて、これだけきれいな場所は、周辺地域を見ても少ない」と林さんは言います。

古泉さんに見せていただいたダイヤモンド富士は、リサイクルプラザ付近から撮影したもの。「日没の位置は1日で500mずれます。何日も歩き回って撮影場所を決めました。天候に左右されるし、シャッターチャンスはわずか数十秒。大変でした」とのこと。ダイヤモンド富士は3月と9月に見ることができます。

富士山の魅力を伊藤さんに聞くと、「同じ場所でも時期や時間で違った顔になる。そこに草木や街並みを加えると、おもしろい写真が撮れます。いい場所があったら逆に教えてほしい（笑）」との答えが返ってきました。今回紹介した写真は、あえて撮影場所の詳細は伏せています。ぜひ自らの足で、富士山の絶景ポイントを見つけてみてください。



蟹ヶ谷公園で撮影
(写彩あやせ 直井孝雄さん)



城山公園周辺で撮影
(綾瀬写真協会 内川道廣さん)



リサイクルプラザ周辺で撮影したダイヤモンド富士
(綾瀬フォトクラブ 古泉尚さん)



綾瀬スポーツ公園で撮影
(綾瀬写真協会 伊藤和徳さん)



綾瀬厚生病院付近で撮影
(綾瀬写真協会 伊藤和徳さん)

現在、「綾瀬市景観フォトコンテスト」への応募作品が募集されています。詳細は下記のとおり。

「綾瀬市景観フォトコンテスト」(写真の技術を競うものではありません。どなたでも参加できます)

主 催：綾瀬市 都市政策課

応募期間：10月31日まで

テ ー マ：「私の自慢の綾瀬の景観」

問い合わせ：0467-70-5629 (都市政策課まちづくり担当)

応募方法：4つ切りもしくはA4サイズのカラー写真

平成25年8月1日以降に撮影したものを綾瀬市都市政策課へ持参または郵送

市民活動センター あやせよりお知らせ



■「人権賞」候補者推薦を募集中

横浜弁護士協会では、「人権賞」の候補者推薦を募集中です。綾瀬で活動している熱心な団体・個人をご存じの方は、この機会に推薦してみたいかがでしょうか。

対象：神奈川県内で人権侵害に対する救済活動、人権思想の普及・確立のための活動、その他人権擁護のための活動をされた個人・団体

推薦方法：人権賞推薦書及び関係資料を郵送または持参

受付期間：9月1日まで

問い合わせ：045-211-7705（横浜弁護士会「人権賞」係）

※ホームページ（<http://www.yokoben.or.jp/>）で詳細を確認ください。人権賞推薦用紙もダウンロードできます。

■「夏休みチャレンジボランティア体験」開催中

去る7月20日より、夏休みチャレンジボランティア体験がスタートしました。今回は16団体でボランティアを受け入れており、9月14日までの開催期間中、参加者を随時募集しています。また、秋にもチャレンジボランティア体験を開催しますので、今後受け入れを検討している各団体の方の参加もお待ちしています。詳しくは当センターのホームページをご覧ください。直接お問い合わせください。

■「市民活動交流カフェ」開催のお知らせ

エコでボランティアな江戸のまちづくりについて、日本NPOセンター特別研究員の椎野修平さんに講演していただきます。テーマは「江戸のまちから学ぼう！あやせのまちづくり」。参加された各団体のみみなさまの活動PR時間も設けていますので、交流を深めながら、まちづくりについて考えてみませんか。参加費は無料。参加をご希望の方は当センターまでご連絡ください。

日時：8月25日（月）18:00～20:00

会場：中央公民館 3F 講習室

対象：市民活動団体所属の方、市内在住の方

定員：30名

■パソコン相談&ポスタープリンター講習会

登録団体に所属、もしくは公益活動をしている方を対象とし、毎月最終土曜日に当センターで開催しています。8月は30日、9月は27日です（時間はいずれも13:00～15:00）。ご利用できる印刷機器各種の扱い方や、パソコンの基礎操作などをご説明します。参加費無料。事前の予約が必要です。

■8、9月のパソコン講習会のご案内

対象：登録団体に所属、もしくは公益活動をしている方

参加費：100円（テキスト代）

定員：5名（要予約）

会場：市民活動センターあやせ

日程&内容：

8月8日（金）13:00～16:00

デジカメ写真をワードに貼り付け（対象：初級）

8月29日（金）13:00～16:00

縦型封筒の宛名印刷（対象：初級）

9月12日（金）13:00～16:00

チラシの作り方（対象：初級）

9月26日（金）13:00～16:00

初歩のパソコン基本操作（入門編）

※毎月2日より申込を受け付けます。

同じ月に2つの講習を予約することはできません。

市民活動センターあやせ

〒252-1103 綾瀬市深谷 3838 中央公民館内

TEL&FAX：0467-70-1232

Eメール：ayasenposc@gmail.com

開館時間：9:00～22:00

休館日：火曜日、毎月第3水曜日、年末年始

登録団体数：138団体（2014年8月現在）

※ホームページもあります。

「市民活動センターあやせ」で検索してください。

